

豊胸シリコンバッグ取り出し説明書

豊胸シリコンバッグ取り出しとは

豊胸シリコンバッグ取り出しとは、バストに挿入していたシリコンバッグと呼ばれるシリコン製の人工物を除去する手術です。手術後はシリコンバッグの高さ分、バストが小さくなります。

豊胸シリコンバッグ取り出し後の状態・ケアについて

・手術から3日間は傷口を濡らさないようにしてください。3日目以降はシャワーを浴びていただけます。術後1週間程度は血流が良くなることでの腫れを防ぐため、長時間の入浴や熱いお風呂を避け、ぬるま湯での軽いシャワー程度にさせていただくことをおすすめします。

・1週間後に来院していただき、抜糸を行います。

・最初のうちは周辺に触れる際はなるべく優しく、できる限り負担をかけないようにしてください。また、身体を締め付けない緩めの下着や洋服を着用するようにしてください。

・強い腫れは、1～2週間程度で引いていき、その後も時間の経過と共に腫れが引きます。

・内出血については、個人差がありますが数週間前後で消失します。

・飲酒は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、1週間ほどお控えください。

・運動は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、軽い運動は1週間、激しい運動は当面の間お控えください。

・経過観察をする目的で施術部位の写真を撮らせていただきます。撮影させていただいた写真に関しては、厳重に保管し、患者様との経過観察以外で無断使用することはありませんのでご安心ください。

※気になる症状がある場合には1ヶ月程度様子を見てください。

1ヶ月以上経過しても違和感が継続している場合、クリニックまでご連絡ください。

豊胸シリコンバッグ取り出しで生じる可能性のあるリスクについて

【内出血】

バストの周辺に内出血が生じる場合があります。最初は青黒い色みでその後黄色→肌色と変化していきます。出現や消失には個人差がありますが、数週間かかる場合があります。

【痛み】

術後に麻酔が切れると痛む場合があります。痛む際は処方される内服薬をお飲みください。

【腫れ】

当日より若干腫れが起こります。概ね1週間ほどで腫れは引いていきます。

【変形】

挿入していたシリコンバッグの偏りによって、バストが変形している可能性があります。

【感染】

傷口が炎症を起こしたり、挿入していたシリコンバッグが損傷し感染が生じた場合、傷の治りが遅くなるため治療経過は長くなります。治療のため、抗生剤の投与や外科的処置を行うことがあります。

【しびれ】

手術により非常に細かく小さい神経を切ることがあり、術後痺れが残る可能性があります。多くの場合は3～4ヶ月で回復します。

【肥厚性瘢痕(ケロイド)】

ケロイド体質の方は傷が治る過程で皮膚が盛り上がってしまう場合があります。その場合、別途瘢痕に対する治療が必要になります。

【凹凸感】

長年のシリコンバッグ挿入によりバストが拘縮していたり炎症を起こしている場合など、シリコンバッグ周囲に石灰化が見られた場合には、抜去後も凹凸が改善しない、あるいは抜去する前よりも目立つことがあります。

豊胸シリコンバッグ取り出しをお受けいただけない方

妊娠中の方、妊娠の可能性がある方、授乳中の方、親権者の同意がない未成年の方、バストに怪我や炎症がある方、麻酔剤にアレルギーをお持ちの方、その他医師が不可と判断した場合は手術を受けられません。

医療法人社団桜恵会 THE ONE.